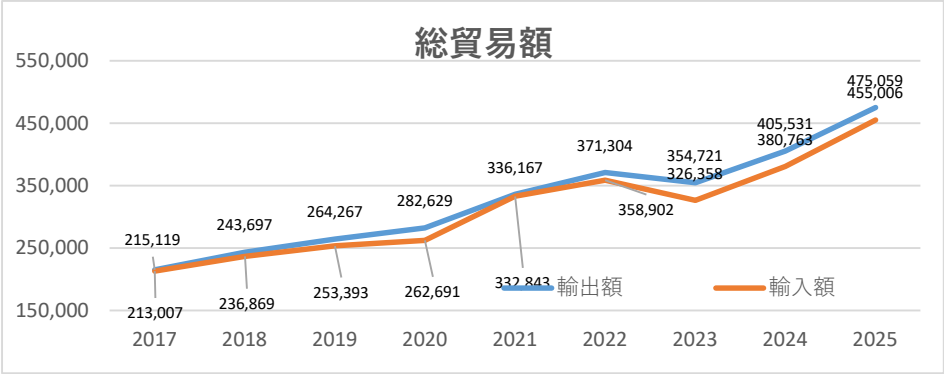
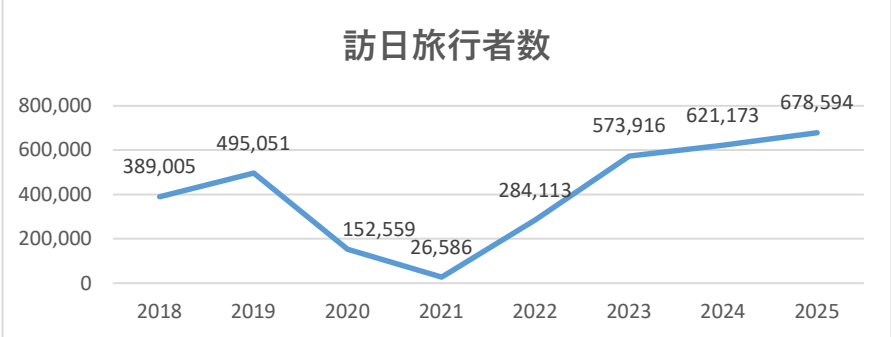


1. 国概要		出典	
正式名	ベトナム社会主義共和国	①	
国旗	位置図		
		①	
面積	32万9,241平方キロメートル	①	
首都	ハノイ	①	
人口	約1億134万人 (2024年)	④ ⑨	
			
民族	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族	①	
公用語	ベトナム語	①	
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他	①	
通貨(為替レート)	100ドン=0.605円(2026年4月)	⑤	
略史	紀元前207年	南越国の成立	①
	紀元前111年	前漢、ベトナム北部に交趾郡を置く	
	938年	呉権(ゴークエン)、白藤江で南漢軍を破る(中国からの独立)	
	1009年	李王朝の成立	
	1010年	首都をタンロン(現在のハノイ)に定める	
	16世紀	ホイアンの日本人町が栄える	
	1884年	ベトナムがフランスの保護国となる	
	1905年～	独立運動家ファン・ボイ・チャウがドンズー(東遊)運動を開始	
	1930年2月	ベトナム共産党結成	
	1940年9月	日本軍の北部仏印進駐(1941年南部仏印進駐)	
	1945年9月	ベトナム共産党ホーチミン主席、「ベトナム民主共和国」独立宣言	
	1946年12月	インドシナ戦争	

略史	1954年5月	ディエンビエンフーの戦い	①	
	1954年7月	ジュネーブ休戦協定、17度線を暫定軍事境界線として南北分離		
	1965年2月	アメリカ軍による北爆開始		
	1973年1月	パリ和平協定、アメリカ軍の撤退		
	1973年9月21日	日本と外交関係樹立		
	1976年7月	南北統一、国名をベトナム社会主義共和国に改称		
	1979年2月	中越戦争		
	1986年	第6回党大会においてドイモイ(刷新)政策が打ち出される		
	1991年10月	カンボジア和平パリ協定		
	1992年11月	日本の対越援助再開		
	1995年7月	アメリカとの国交正常化		
	1995年7月	ASEAN正式加盟		
	1998年11月	APEC正式参加		
	2007年1月	WTO正式加盟		
	2008年～2009年	国連安保理非常任理事国(初選出)		
	2010年	ASEAN議長国		
	2014年～2016年	国連人権委員会理事国		
	2017年	APEC議長国		
	2020年	ASEAN議長国		
	2020年～2021年	国連安保理非常任理事国		
政治				
政体	社会主義共和国		①	
元首	ルオン・クオン国家主席		①	
議会	一院制(定数500名)、任期5年、中選挙区、選挙権満18歳以上、被選挙権満21歳以上。2026年に第16期国会議員選挙が実施される見通し。		①	
政府	(1)首相 ファム・ミン・チン (2)外相 ブイ・タイン・ソン		①	
地方自治制度	<pre> graph TD A[国(中央政府)] --> B[省レベル (34)] B --> C[省 provinces (28)] B --> D[中央直轄市 centrally run cities (6)] C --> E[村レベル (3321)] D --> E E --> F[村 communes (2621)] E --> G[区 wards (687)] E --> H[特別区 soecial zones (13)] </pre>			⑥ ⑦

<p>地方自治制度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年7月1日、ベトナムは政治・行政の効率性向上や経済発展の促進を目的に、従来の63省市から34省市(28省+6中央直轄市)へ大規模な地方行政区画の統廃合を実施した。 ・ベトナムの地方行政組織の構造は、政府の下には上から順に、「省レベル」と言われる「省」と「中央直轄市」が、その下に「村レベル」の単位として「村」「区」「特別区」が置かれており、ベトナムの地方行政構造は2層構造となっている。 ・これらの各階層には、「人民評議会」と「人民委員会」という機関が設置されている。人民評議会は、いわゆる地方議会的な役割を果たしている。人民委員会は人民評議会の執行機関であるとともに、地方における国家行政機関という位置づけの機関である。 																			
<p>経済</p>																				
<p>主要産業</p>	<p>農林水産業(GDPに占める割合11.96%)、鉱工業・建築業(同37.12%)、サービス業(同42.54%)</p>	<p>①</p>																		
<p>実質経済成長率(%)</p>	<p style="text-align: center;">経済成長率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Real Economic Growth Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>2018</td><td>7.1</td></tr> <tr><td>2019</td><td>7.0</td></tr> <tr><td>2020</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>2021</td><td>2.6</td></tr> <tr><td>2022</td><td>8.1</td></tr> <tr><td>2023</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>2024</td><td>7.1</td></tr> </tbody> </table>	Year	Real Economic Growth Rate (%)	2017	6.8	2018	7.1	2019	7.0	2020	2.9	2021	2.6	2022	8.1	2023	5.1	2024	7.1	<p>⑧</p>
Year	Real Economic Growth Rate (%)																			
2017	6.8																			
2018	7.1																			
2019	7.0																			
2020	2.9																			
2021	2.6																			
2022	8.1																			
2023	5.1																			
2024	7.1																			
<p>物価上昇率(%)</p>	<p style="text-align: center;">物価上昇率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Inflation Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>2019</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>2020</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>2021</td><td>1.8</td></tr> <tr><td>2022</td><td>3.2</td></tr> <tr><td>2023</td><td>3.3</td></tr> <tr><td>2024</td><td>3.6</td></tr> </tbody> </table>	Year	Inflation Rate (%)	2017	3.5	2018	3.5	2019	2.8	2020	3.2	2021	1.8	2022	3.2	2023	3.3	2024	3.6	<p>⑧</p>
Year	Inflation Rate (%)																			
2017	3.5																			
2018	3.5																			
2019	2.8																			
2020	3.2																			
2021	1.8																			
2022	3.2																			
2023	3.3																			
2024	3.6																			
<p>一人当たり名目GDP (USD)</p>	<p style="text-align: center;">一人当たり名目GDP (USD)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Nominal GDP per Capita (USD)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>2,957.9</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3,216.3</td></tr> <tr><td>2019</td><td>3,439.1</td></tr> <tr><td>2020</td><td>3,548.9</td></tr> <tr><td>2021</td><td>3,756.9</td></tr> <tr><td>2022</td><td>4,101.7</td></tr> <tr><td>2023</td><td>4,324.0</td></tr> <tr><td>2024</td><td>4,649.1</td></tr> </tbody> </table>	Year	Nominal GDP per Capita (USD)	2017	2,957.9	2018	3,216.3	2019	3,439.1	2020	3,548.9	2021	3,756.9	2022	4,101.7	2023	4,324.0	2024	4,649.1	<p>⑫</p>
Year	Nominal GDP per Capita (USD)																			
2017	2,957.9																			
2018	3,216.3																			
2019	3,439.1																			
2020	3,548.9																			
2021	3,756.9																			
2022	4,101.7																			
2023	4,324.0																			
2024	4,649.1																			
<p>失業率(%)</p>	<p style="text-align: center;">失業率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Year</th> <th>Unemployment Rate (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2017</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>2018</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>2019</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>2020</td><td>3.9</td></tr> <tr><td>2021</td><td>4.3</td></tr> <tr><td>2022</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>2023</td><td>2.8</td></tr> <tr><td>2024</td><td>2.5</td></tr> </tbody> </table>	Year	Unemployment Rate (%)	2017	2.2	2018	3.1	2019	3.1	2020	3.9	2021	4.3	2022	2.8	2023	2.8	2024	2.5	<p>⑧</p>
Year	Unemployment Rate (%)																			
2017	2.2																			
2018	3.1																			
2019	3.1																			
2020	3.9																			
2021	4.3																			
2022	2.8																			
2023	2.8																			
2024	2.5																			

<p>総貿易額 (100万USD)</p>		<p>⑧ ⑪</p>
<p>貿易品目</p>	<p>(1)輸出 コンピュータ・電子機器・同部品、電話機・同部品、機械設備・同部品、繊維・縫製品、履物等 (2)輸入 コンピュータ・電子機器・同部品、機械設備・同部品、繊維・縫製品、鉄鋼、プラスチック製品等</p>	<p>①</p>
<p>主要貿易相手国</p>	<p>(1)輸出 米国、中国、韓国、日本、オランダ (2)輸入 中国、韓国、日本、台湾、米国</p>	<p>①</p>

2.日本とのかかわり		出典
大使館	ハノイ	⑫
大使	伊藤 直樹(2024年5月～)	⑫
進出企業数	2,094社(2025年4月時点)	⑨
日本企業の投資件数と投資額(2024年)	件数:444件 金額:25億7,707万ドル ※認可ベース、新規・拡張含む	⑨
在留邦人数	17,410人(2024年10月現在)	③
在日留学生数	40,323人(2024年度)	⑬
観光		
訪日旅行者数(人)		⑭
旅行形態(2025年時点)	団体(48.9%)、個人(44.4%)	⑮

貿易		
日本との貿易 (通関ベース) (100万USD)		⑨
日本の主要輸出入品目 (2024年)	(1)輸出 電気機器・部品(25.6%) 鉄鋼(13.5%) 機械・部品(12.6%) プラスチック・同製品(6.9%) 特殊品目(6.4%) (2)輸入 電気機器・部品(26.7%) 衣類・同付属品(15.8%) 機械・部品(8.6%) 木材・同製品(5.8%) 履物(5.0%)	⑨

3.自治体の活動			出典																																			
自治体交流																																						
姉妹自治体	<table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>自治体名称</th> <th>提携自治体名</th> <th>州・省・県等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府</td> <td>大阪府</td> <td>ホーチミン市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福岡県</td> <td>福岡県</td> <td>ハノイ市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福岡県</td> <td>北九州市</td> <td>ハイフォン市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大阪府</td> <td>堺市</td> <td>ダナン市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>愛媛県</td> <td>西条市</td> <td>フエ市</td> <td>トゥアティエン・フエ省</td> </tr> <tr> <td>大阪府</td> <td>泉佐野市</td> <td>ビンディン省</td> <td>ビンディン省</td> </tr> <tr> <td>茨城県</td> <td>八千代町</td> <td>ラックスオン県</td> <td>ラムドン省</td> </tr> <tr> <td>山梨県</td> <td>山梨県</td> <td>クアンビン省</td> <td>クアンビン省</td> </tr> </tbody> </table>	県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名	大阪府	大阪府	ホーチミン市		福岡県	福岡県	ハノイ市		福岡県	北九州市	ハイフォン市		大阪府	堺市	ダナン市		愛媛県	西条市	フエ市	トゥアティエン・フエ省	大阪府	泉佐野市	ビンディン省	ビンディン省	茨城県	八千代町	ラックスオン県	ラムドン省	山梨県	山梨県	クアンビン省	クアンビン省	⑩
県名	自治体名称	提携自治体名	州・省・県等名																																			
大阪府	大阪府	ホーチミン市																																				
福岡県	福岡県	ハノイ市																																				
福岡県	北九州市	ハイフォン市																																				
大阪府	堺市	ダナン市																																				
愛媛県	西条市	フエ市	トゥアティエン・フエ省																																			
大阪府	泉佐野市	ビンディン省	ビンディン省																																			
茨城県	八千代町	ラックスオン県	ラムドン省																																			
山梨県	山梨県	クアンビン省	クアンビン省																																			
JET参加者の数 (2025年7月現在)	30名	<table border="1"> <tr> <td>ALT</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>CIR</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>SEA</td> <td>0名</td> </tr> </table> 累計 151人(2025年7月現在の参加者を含む)	ALT	0名	CIR	30名	SEA	0名	⑪																													
ALT	0名																																					
CIR	30名																																					
SEA	0名																																					
JETAA支部	○																																					
クレア関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ●総務省セミナー <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年</th> <th>開催地(都市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2024年</td> <td>ベトナム(ハノイ市)</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>ベトナム(ホーチミン市)</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>ベトナム(フエ市)</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>ベトナム(ハノイ市)</td> </tr> </tbody> </table> ●専門家派遣事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年</th> <th>開催地(都市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年</td> <td>ベトナム(ダナン市)</td> </tr> </tbody> </table> ●地域間交流促進プログラム <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催年</th> <th>開催地(都市)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2024年</td> <td>ベトナム(ハノイ市)</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>ベトナム(ハノイ市、ホーチミン市)</td> </tr> </tbody> </table> 			開催年	開催地(都市)	2024年	ベトナム(ハノイ市)	2019年	ベトナム(ホーチミン市)	2018年	ベトナム(フエ市)	2017年	ベトナム(ハノイ市)	開催年	開催地(都市)	2016年	ベトナム(ダナン市)	開催年	開催地(都市)	2024年	ベトナム(ハノイ市)	2015年	ベトナム(ハノイ市、ホーチミン市)															
開催年	開催地(都市)																																					
2024年	ベトナム(ハノイ市)																																					
2019年	ベトナム(ホーチミン市)																																					
2018年	ベトナム(フエ市)																																					
2017年	ベトナム(ハノイ市)																																					
開催年	開催地(都市)																																					
2016年	ベトナム(ダナン市)																																					
開催年	開催地(都市)																																					
2024年	ベトナム(ハノイ市)																																					
2015年	ベトナム(ハノイ市、ホーチミン市)																																					

4.その他渡航情報		出典
入出国	「45日以内の滞在であること」「ベトナム入国の時点で旅券の有効期間が6か月以上であること」等の要件を満たせばビザは不要。 (注)出入国手続は日々変更される可能性がありますので、詳細は在ベトナム日本国大使館HP等で必ず確認してください。	⑫
旅券の残存期間	ベトナム入国時6か月以上	⑫
日本との時差	-2時間	
祝日(2026年)	1月1日 新年 2月16日～20日 テト(旧正月) 4月27日 フン王記念日 4月26日 振替休日(フン王記念日) 4月30日 南部統一記念日 5月1日 メーデー 8月31日 振替休日(※) 9月1日～2日 建国記念日 ※政府によると、8月31日(月)の振替休日の代わりに8月22日(土)は振替出勤日となる予	⑩
予防接種の必要性	成人 望ましいもの: A型肝炎、B型肝炎、破傷風(追加接種)、麻疹、狂犬病、日本脳炎、季節性インフルエンザ、腸チフス 小児 望ましいもの: 日本の定期予防接種(BCG、ポリオ、DPT、MR、日本脳炎、Hib、B型肝炎、水痘、小児用肺炎球菌、ロタウイルス)、狂犬病、流行性耳下腺炎、A型肝炎、季節性インフルエンザ、腸チフス	②
気候	北部: 温帯モンスーン気候、南部: 熱帯モンスーン気候	②
電話の掛け方	国際電話会社の番号+84(国番号)+電話番号	②
電力	電圧はほとんどが220Vで、稀に110Vがある。周波数は50Hz。プラグはA型とC型の複合型が多く、A型、C型、稀にSE型とBF型がある。日本の100V用電気製品を使用するには変圧器が必要。	
飲用水	水質は良好とはいえず、飲水には適さない。ボトルウォーター(ミネラルウォーター)などを利用するか、浄水器の使用を推奨。	②
日本からのフライト時間	羽田-ホーチミン(直行便で5時間5分～6時間30分)、 羽田-ハノイ(直行便で4時間30分～5時間)、 成田-ホーチミン(直行便で5時間20分～6時間20分)、 成田-ダナン(直行便で5時間～5時間25分) 成田-ハノイ(直行便で4時間35分～5時間35分) (注)最新の情報は、各空港や航空会社のHP等をご確認ください。	⑮ ⑰

【出典】

外務省

- ①基礎データ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/vietnam/data.html>
- ②世界の医療事情 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/viet.html>
- ③海外在留邦人数調査統計 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/tokei/hojin/index.html>
- ④Population Pyramid.net <https://www.populationpyramid.net/viet-nam/2024/>

日本銀行

- ⑤報告省令レート https://www.boj.or.jp/about/services/tame/tame_rate/syorei/index.htm

ベトナム統計総局

- ⑥Statistical Yearbook 2024 <https://www.nso.gov.vn/en/default/2026/01/statistical-yearbook-of-viet-nam-2024-2/>
- ⑦ISO <https://www.iso.org/obp/ui/#iso:code:3166:VN>

JETRO

- ⑧基礎的経済指標 https://www.jetro.go.jp/world/asia/vn/basic_01.html#block2
- ⑨概況・基本統計 https://www.jetro.go.jp/world/asia/vn/basic_01.html
- ⑩祝祭日 <https://www.jetro.go.jp/world/asia/vn/holiday.html>
- ⑪ビジネス短信 <https://www.jetro.go.jp/biznews/2026/01/57fe0d41e67ed3bb.html>

在ベトナム日本国大使館

- ⑫ベトナム出入国情報 https://www.vn.emb-japan.go.jp/itpr_ja/JP_Shuttsunyukoku.html
- ⑬(独)日本学生支援機構 <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/enrollment/data/2405241100.html>

JNTO

- ⑭訪日外客数 <https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>
- ⑮ベトナム市場基礎データ <https://www.jnto.go.jp/statistics/market-info/vietnam/market-basic-vietnam.html>

(一財)自治体国際化協会

- ⑯自治体間交流 <http://www.clair.or.jp/j/exchange/shimai/countries/detail/65>
- ⑰JET Programme <https://jetprogramme.org/ja/countries/>

Fly Team

- ⑱羽田空港 就航都市・路線一覧 https://flyteam.jp/airport/tokyo-international-airport/airline_route#country_50
- ⑲成田空港 就航都市・路線一覧 https://flyteam.jp/airport/narita-international-airport/airline_route#country_50